

平成 21 年 4 月 10 日発行
第 139 号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel:(0548)32-0701 緊急用:090-1758-1712 Fax:(0548)32-1280

「吉田町・牧之原市住民が『崩れゆく榛原病院を如何に処すか』」

“質”を考え、毅然とした言動、後退せぬ責任 その

中学生に交じり溶け合いながら、愛想を振り撒きながら歩く吉田町長田村典彦氏。吉田町住民が投票で選んだ人である。私自身が、彼の別の顔をたくさん見過ぎ・知りすぎた。

やはり 忘れられない。第 76 回陸会(2008.4.22.開催)の時、当時 何十回に渡り田村氏にアクセスして「陸会に出て頂いてお話を」とお願いしていたのだが、何の連絡も無く、町長の陸会出席は諦めていた会当日の午前、外来診察中に私の携帯に「今日出席するので宜しく」の伝言が録音されていた。私は複雑な気持ちであったが、会場の吉田町図書館に現れたその時に「次の予定があるので午後の最初に話をさせろ」という田村氏を全面的に受け入れ、休憩後の最初に話をされた。その内容が康寿診報第 130 号の P2,3 である。

当日 会場に現れた町長に挨拶をした直後 言われた事は 未だに耳に焼き付き トラウマとなり 私から離れない。「康寿診報にあのような内容を載せるなら、保険診療を辞めて自由診療をし、嫌なら俺が止めさせる。」この以前から、トップの資質を問うことはいくつもあった。

早朝 中学生の登校に交じり愛想を振り撒きながら歩いていた 2/16、午後 3 時に医師会に電話があり、榛原病院についての話し合いの席「地域医療連絡体制推進協議会」に「健康上の理由から」と欠席の連絡。過去の彼の言動・行為から、第 76 回陸会の田村氏の話(康寿診報第 130 号の P2,3 記載)は何だった...、と言いたくなる。ドタキャンを知った瞬間 諦めていても「ふざけんな！」と怒っている自分が存在していた。

やはり、私 加藤寿夫は、田村典彦氏を直視し、真っ当に接した時間が長過ぎた。その分だけ、自分の容量が小さかった数年前は、自分の感受性からストレート

に物申す自分がいた。あの頃の大好きだった自分、その存在が気薄になって寂しい。いや、何度も怒号する狼少年、私はそれに 慣らされてしまった。

3/29 早朝 2:30AM スキーに行く前 僅かな仮眠中、夢の中に 天国のお袋 雅子さんがでてきた。そして「凡てを許しちゃえ 寿夫...」と囁いた。そうしようと納得した。ただし、相手に誠意が在ったこと、特にテロ的行為には懺悔の気持が必要不可欠である。その上で、私自身が心の整理を心掛け、相手の未来・今後を考えることが出来る。自分の怒り・気持ちの更生は、なかなかの忍耐が必要である。

4/18 開催 第 78 回 陸会についてであるが、榛南医療は破壊から破滅に向かっており、現実をどう捉え 如何に行動すべきか、「病診連携・診診連携」とは」と題して、現場の立場から 原点に戻って、皆さんと共に考え問うてみたいと考えている。特に「お金」と「心」の問題を別々に考え、コンビニ受診による医療従事者の疲弊の状況、吉田町・牧之原市の地方行政 特にここ数年の吉田町の行政を顧みて「知ること・変えること・続けること」により、過去 5 年、10 年の地域住民の意識の歪みを是正すること、姿勢を正すことが必要と考える。その大前提として、先ずは 我々医師団と田村典彦町長に信頼関係の回復が必要である。私は吉田町担当理事として、何度となくアポイントをお願いした。しかし「忙しい」「時間が取れない」を理由に秘書を通して拒否している状況である。町長に問い正しても、否定されるであろうし、怒号の繰り返しである。しかし、今 伝えるべきことがある。そんな状況の中、榛原病院閉鎖の危機は静かに刻々と迫っている。 加藤寿夫

本ページは 吉田町長 田村典彦氏に閲覧の上 掲載しております。

第 78 回 睦会プログラム

日時：平成 21 年 4 月 18 日(土)

場所：吉田町立図書館

受付：12 時 30 分～

開会：13 時 (15 時 30 分 終了予定)



「開会の言葉」睦会会長 杉山富三男さん

第一部 13:00～13:50 司会 大川美枝子

「一病息災からの出発(その2)[開院 40 周年記録集] 編集経過報告 約 30 分」

管理栄養士・CDE 杉山晴子

「ほかのリスクを伴った糖尿病患者さんへの対応

とくに血圧・脂質の管理について 医学情報誌『治療 Vol.90(2008.12.)』(南山堂)より 約 20 分」

院長 加藤寿夫

- 休憩 (血糖測定) 約 15 分

第二部 14:05～15:30 司会 杉山晴子

「糖尿病で『患者さん自身が持ち歩くべきツール』について

自己血糖(SMBG)測定器・SMBG 記録手帳・糖尿病手帳の扱い 約 15 分」

(株)はいやく 吉田薬局薬局長 諏訪泰さん

「医療破壊 榛南の現実をどう捉え 如何に行動すべきか

“病診連携・診診連携”とは 現場の立場から 原点に戻って考えよう 約 70 分」

- 1)あなたの生活しているこの榛南地域、あなたあるいは親族が急病時どうなる？
 - 2)医療機関へのかかり方の工夫(特に脳・心疾患の急変を考えて)
 - 3)吉田町・牧之原市 地方行政の現実(ここ数年の町の行政を顧みて)
 - 4)榛原病院を閉鎖させない為に！(「お金」と「心」の問題を別々に考えてみよう)
- 加藤寿夫が司会・進行を務めながら、医療機関に受診する皆さんの質問・意見に、医療を施す立場 本院・吉田薬局職員を含め、我々皆が医療人として お応えしたいと考えております。

「総括」静岡県糖尿病協会会長 田中彰さん

「閉会の言葉」睦会代表 久保田豊さん

参加は無料、糖尿病・メタボ等に 興味をお持ちの方は自由に参加して下さい。

毎回の睦会ですが、今回は特に 榛原病院が閉鎖の危機に直面している現実も踏まえ、 についての話も大きな問題ですので、町の方針についてお話がいただけるように、田村典彦町長には何回にもわたり出席をお願いしております。

Q & A ほかのリスクを伴った糖尿病患者への対応

特に血圧・脂質の管理について

加藤 寿夫

本気で読むなら
拡大コピーして
下さい。

【プライマリ・ケアにおけるポイント】

糖尿病患者さんの「血糖、血圧、脂質のコントロール治療基準について」語る時、
現在進行中の、糖尿病合併症予防のための戦略研究 J-DOIT 3 (= Japan Diabetes Outcome Intervention Trial 3)について注目せざるを得ない。この研究では、血糖・血圧・脂質の3項目に介入し、糖尿病合併症の発症を30%抑制することを目標に、治療目標値・使用薬剤について定めている。数年後この研究により「血糖・血圧・脂質の3項目に十分介入しコントロールされた群で将来の合併症が明らかに抑制される」ことが証明されると、すべての糖尿病患者さんに対して可能な限りの介入をすべく J-DOIT 3 の強化療法の治療基準が推奨されることになると思われる。

現在の糖尿病治療ガイドラインによるコントロール基準では、HbA1c 6.5%未満、血圧 130/80 未満、LDL-C 120 未満との設定であるが、J-DOIT 3 の強化療法群では、HbA1c 5.8%未満、血圧 120/75 未満、LDL-C 80 未満というさらに厳しい設定となっている。この現在進行形のトライアルには十分注目すべきであると思われる。

まずは「血糖コントロールに対して」であるが、

ここ 10 年余りの治療方針の進歩・特徴は、インスリンの抵抗性と分泌の両面からの検討が加えられるようになったことで、PRO active study の結果からチアソリジン薬、ピオグリタゾンが、心血管イベントの危険因子を改善することから、第一選択薬として使用することが推奨されている。また、ピグアナイド剤、メトホルミン・ブフォルミンは肥満傾向のある人への投与が推奨されるが、これと、グルコシダーゼ阻害剤、この2種類の薬はどの段階においても薬効を考慮した上で追加処方を考えるべき薬剤とされている。

チアソリジン薬(ピオグリタゾン): アクトス
ピグアナイド剤
メトホルミン: メドット・グリコラン
ブフォルミン: ジベトス
グルコシダーゼ阻害剤
: ベイソン・ボグリボース・グルコバイ・セイブル
グリニド系薬剤
: グルファスト・ファスティック・スターシス
スルホニル尿素系薬剤
: グリミクロン・アマリール

現在、保険制度上の制約はあるのであろうが、薬効からはスルホニル尿素系薬剤・グリニド系薬剤、これらのインスリン分泌促進剤、さらにはインスリンとの併用により、他のリスク、特に心・血管イベントの危険因子を低下させる治療を念頭に、積極的に・早期に・予防的に、開始することが望まれる。

次に「血圧コントロールに対して」であるが、

心臓・腎臓に対する保護作用を合わせ持つ、ACEI[=アンジオテンシン変換酵素阻害剤]・ARB[=アンジオテンシン 受容体拮抗剤]をベースとして最大量まで使用した上で、必要に応じ長時間作用型の Ca 拮抗剤の併用。2剤でコントロールできない場合には、さらに利尿剤・遮断剤・遮断剤を順に追加する。J-DOIT 3 の強化療法群の基準までコントロールすることが、合併症回避のための目標値と考える。

最後に「脂質コントロールに対して」であるが、

必要に応じ、脂質コントロール効果の明らかなストロングスタチンまでを最大容量まで使用する。さらには、小腸コレステロールトランスポーター阻害薬 エゼチミブの単独・併用での投与により、糖尿病患者さんに対する治療目標値、J-DOIT 3 の強化療法群の基準まで、十分に介入することが、合併症予防、特に心血管イベントの抑制に大きく貢献することに直結すると考える。

最後に

「保健指導の実効的な実施を」

2008 年度、日本で始められた特定健康診査・保健指導であるが、「食事・運動の実質的な改善から、糖尿病をはじめとするメタボリック症候群の予防」これを目指すのが目標であったはずである。しかし、健診の受診率を上げることまでで息切れして、保健指導の実効的な実施に至っているのは、ごくごく一部の特に健康に力を入れている企業組織でしかない。実質的な効力が認められるには程遠い。生活改善に至るまでの道筋が成されないと、メリハリ無く中途半端な状況で行われているのが現実である。政策として何処にお金をかけるのか、明確にすべきと思われる。

ただし、「メタボリック症候群」という言葉は一般国民にも広く認識されてきており、この言葉の認識を通して、生活習慣病に対する意識、食事・運動の本質的な改善を促す必要性は痛感する。

本院での合い言葉「知ること」「変えること」「続けること」がすべてであると思われるが、これには本人の自覚がまず第一に大切である。その上で医療人が実生活に介入する際は、大変な時間と手間、労力を必要とすること。このことを政策として実行しようとする時には、十分認識すべきである。

自己の生活改善を認識しやる気を出す方には十分な介入をする一方で、欧米ではある意味見切りを付けているように、広く一般国民に、さらにやる気を示さない対象に無理を知った上で無駄に費用を費やし介入することに関しては、コストとベネフィットの再検討が必要と考える。

ただし、我々医療に携わる者としては、動機付けの機会を見逃さず、より多く一人でも多くの方に、生活改善を認識しやる気を喚起し、この人達を対象に、働きかけていく努力を惜しむべきではない。国策としての制度作りでも、そこを原点に考えるべきである。糖尿病は初期の動機付けが何より大切な病気であり、その意味では、糖尿病初診から 3 か月のみは SMBG(自己血糖測定)を保険診療で認めるなど、メリハリのある実効的な制度の構築を願いたい。

「血圧も脂質も正常化する治療を」

薬剤の進歩はすさまじく、これらを楽しむことができる医療環境が整えられた上での話であるが、糖尿病患者さんを医師が目の前にした診療の現場で、何よりも大切なことは、血糖はもちろん、血圧も脂質も正常化する治療をすること。それには、まずは生活改善を促すことを第一に、薬物療法として現時点では ARB・ACEI をはじめとする十分な降圧、スタチンの投与、さらにはメタボリックの薬ともいわれるピオグリタゾンの併用、さらに数年後には血糖コントロールに関して、GLP-1 を介する薬物、すなわち GLP-1 あるいは DPP- 阻害剤を第一選択治療の軸として、これに空腹時の血糖が高く、基礎分泌の絶対的に不足する患者さんに持効型のインスリンを併用する方法がスタンダードとなると予測される。インスリン強化療法を必要とする患者さんは、1 型糖尿病を除いては、激減する状況となり、糖尿病治療の新しい時代が幕開けするものと思われる。

上記は医学情報誌「治療 Vol.90(2008.12.)『これからの糖尿病診療 -コアとなるかかりつけ医のために-』(南山堂)」に掲載した原文です。

《勉強会のご案内》

通常の勉強会は原則第 3 土曜日 13:00 から開催です。

4 月 18 日(土)	第 78 回 睦会
5 月 16 日(土)	運動療法について
6 月 13 日(土)	インソール療法について
7 月 11 日(土)	糖尿病とは
8 月 8 日(土)	薬物療法について
9 月 12 日(土)	低血糖について

《診療案内》

診療時間	月	火	水	木	金	土
8 時～12 時						
15 時～18 時						

「朝の挨拶」の為 一般診療開始は 8:15 からです。
 午後の受付は 初診は 17:30 まで 再診は 17:45 まで です。
 休診日:日曜・祝日 木・土曜の午後 月末最終日の午後
 受付最終時間 厳守 とさせていただきます。

ビデオ・DVD 学習会は、別紙予定表にて診療日の午前・午後開催しております。個人の希望にも随時応じております。希望される方は、職員まで申し付け下さい。

「第 78 回睦会」は、焼津市立病院 井村満男先生の講演いただく予定でしたが、当日 糖尿病学会東海地方会(名古屋で開催)の司会役の為 次回に先送りさせていただきます。御了承下さい。

《アカデミー賞受賞「おくりびと」上映会のお知らせ》

5 月の当番医の日、5/ 5(火), 6(水), 24(日) の 15:00 より

アカデミー賞受賞「おくりびと」の上映会を行います。

日本人の死生感、文化を考える上で、大変参考になる内容と思われると思います。ぜひ一度見ておいて下さい。



《「Jリーグ ジュビロ磐田 観戦会(第 6 回)」お知らせ》

2009 J.LEAGUE DIVISION 第 6 節

会場：エコパスタジアム
Wゾーン W25

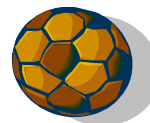
ジュビロ磐田 VS 清水エスパルス

2009.4.19.(日) 13:00 キックオフ *原則「現地集合・現地解散」とさせていただきます。

ご希望の方は、職員にお気軽に声を掛けてください。子供さんを連れての参加は大歓迎です。

歩行困難なお年寄りの方など交通手段の必要な方は職員に御一報ください。

JR 愛野駅から真正面、Wゾーン入場口より入場、階段を昇ってください。W25の場所に陣取ってお待ちしております。



《「“チャオ御岳”スノーリゾートツアー」のご案内》

御岳山の麓で、雪の中に立てこもり、戯れ・語り合いませんか!!
 下記の日程にて、ツアーを企画しました。ぜひ参加してください。



チャオ御岳は 4/10 現在 積雪 200cm

第 回 4/26(日) 27(月) 28(火) 29(水)

第 回 5/3(日) 4(月)

夏スキーで知られる月山スキー場は 4/10 オープンしました。

・民宿高平泊 ¥7,000 : 日和田ロッジ泊 ¥4,000
 リフト券 1 日券 ¥3,000 [大人] 車代: ¥3,000
 ・夕食・朝食の食事代込みの料金、飲み放題です。
 ・スキー・スノーボードをされない 観光目的の方等、宿泊のみの方も歓迎します。
 ・小学生以下の子供さんの宿泊は半額、リフト券は無料です。
 詳細については職員までお問い合わせください、リゾート・宿泊・日程につきお話しします。



《当番医のお知らせ》

5/ 5(火)・ 6(水) , 24(日) 休日当番医にて診療します。

映画上映会・Jリーグ ジュビロ磐田 テレビ観戦会・「第 78 回睦会」DVD 反省会予定しておりますので、ぜひ参加して下さい。

《臨時休診のお知らせ》

お薬を切らさないようにお気をつけ下さい。

4/27(月)・28(火) , 5/9(土) , 5/27(水)~6/1(月)は休診です。